

令和 2 年度 病院経営比較表

都道府県名 大阪府

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ			
-	大阪府立病院機構	2	阪南市	阪南市民病院	20
大阪市	総合医療センター	3			
大阪市	十三市民病院	4			
堺市	堺病院	5			
岸和田市	岸和田市民病院	6			
豊中市	市立豊中病院	7			
池田市	市立池田病院	8			
吹田市	吹田市民病院	9			
泉大津市	市立病院	10			
貝塚市	貝塚病院	11			
枚方市	市立ひらかた病院	12			
八尾市	市立病院	13			
泉佐野市	泉佐野病院	14			
和泉市	市立病院	15			
箕面市	市立病院	16			
柏原市	市立柏原病院	17			
藤井寺市	市立藤井寺市民病院	18			
東大阪市	総合病院	19			

病院経営比較表(令和2年度)				都道府県名 大阪府
市町村・組合名				
病院名	大阪府立病院機構			
施設及び業務概況等				
法適用区分		特殊診療機能		
病院区分		不採算地区病院		
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院		
診療科数	-	指定病院の状況		
許可公営企業		看護配置		
DPC対象病院	-	経営形態	直営	
		類似区分	500床以上	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)						
区分	病床数	令和2年度	全国平均	類似平均	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	67.3	71.4	-	-
療養	-	-	71.4	42.2	-	-
結核	-	-	13.9	17.9	-	-
精神	-	-	59.9	49.3	-	-
感染症	-	-	25.3	25.2	-	-
計	-	-	66.4	69.6	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	18.1	12.6	-	-

一日平均患者数・外来入院患者比率 (人・％)			
区分	入院	外来	外来入院患者比率
令和2年度	-	-	-
全国平均	149	352	162.9
類似平均	421	1,002	161.1
対前年度伸率	-	-	-
令和元年度	-	-	-
対前年度伸率	-	-	-
平成30年度	-	-	-

患者1人1日当たり診療収入 (円・％)			
区分	入院	外来	
令和2年度	-	-	-
全国平均	50,452	15,123	
類似平均	70,935	21,795	
対前年度伸率	-	-	-
令和元年度	-	-	-
対前年度伸率	-	-	-
平成30年度	-	-	-

職員1人1日当たり診療収入 (円・％)			
区分	医師	看護部門	
令和2年度	-	-	-
全国平均	272,905	58,694	
類似平均	266,273	69,198	
対前年度伸率	-	-	-
令和元年度	-	-	-
対前年度伸率	-	-	-
平成30年度	-	-	-

薬品使用効率(％) 全国平均 類似平均			
投薬		117.1	
注射	-	108.3	-
計	-	111.9	-

職員1人1日当たり患者数(人) 全国平均 類似平均			
医師	入院	3.6	2.5
	外来	5.9	4.0
看護部門	入院	0.8	0.7
	外来	1.3	1.1

100床当たり職員数(人) 全国平均 類似平均			
医師	-	22.9	32.1
看護部門	-	89.1	109.8
薬剤部門	-	4.5	5.7
事務部門	-	17.8	19.4
給食部門	-	2.9	2.3
放射線部門	-	4.3	5.4
臨床検査部門	-	5.6	7.2
その他	-	14.3	14.4
全職員	-	161.4	196.3

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(％)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(％)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(％)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(％)	-
修正医業収益(千円)	-

損益計算書 (千円・％)							
区分	令和2年度			令和元年度			平成30年度
	対前年度増減率	費用 医業収益	全国平均	類似平均	対前年度増減率		
総収益	56,870	-24.3			75,125	-18.8	92,565
1 医業収益	-	-			-	-	-
(1) 入院収益	-	-			-	-	-
(2) 外来収益	-	-			-	-	-
診療収入計	-	-			-	-	-
(3) その他医業収益	-	-			-	-	-
(うち他会計負担金)	-	-			-	-	-
2 医業外収益	56,870	-24.3			75,125	-18.8	92,565
(うち国・都道府県補助金)	-	-			-	-	-
(うち他会計補助・負担金)	-	-			-	-	-
(うち長期前受金戻入)	-	-			-	-	-
(うち資本費繰入収益)	-	-			-	-	-
3 特別利益	-	-			-	-	-
(うち他会計繰入金)	-	-			-	-	-
総費用	56,870	-24.3			75,125	-18.8	92,565
1 医業費用	-	-			-	-	-
(1) 職員給与費	-	-	62.1	55.8	-	-	-
(2) 材料費	-	-	25.3	29.8	-	-	-
(うち薬品費)	-	-	13.5	16.5	-	-	-
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	13.0	-	-	-
(3) 減価償却費	-	-	9.5	8.7	-	-	-
(4) 経費	-	-	22.7	19.7	-	-	-
(うち委託料)	-	-	12.6	12.6	-	-	-
(5) 研究研修費	-	-	-	-	-	-	-
(6) 資産減耗費	-	-	-	-	-	-	-
2 医業外費用	56,870	-24.3			75,125	-18.8	92,565
(うち支払利息)	56,870	-24.3	1.3	1.2	75,125	-18.8	92,565
3 特別損失	-	-			-	-	-
損益							
経常損益	-	-			-	-	-
純損益	-	-			-	-	-
累積欠損金	-	-			-	-	-
経常収支比率	100.0		101.9	102.5	100.0		100.0
医業収支比率	-		83.2	87.1	-		-
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	9.1	-		-
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	11.4	-		-
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	8.9	-		-
実質収益対経常費用比率	100.0		89.3	93.2	100.0		100.0

区分	職員数(人)	平均給与月額(円)	平均年齢(歳)		
	当該病院	当該病院	全国平均	類似平均	
医師	-	-	1,400,424	43.0	40.6
看護師	-	-	484,378	40.3	38.4
准看護師	-	-	469,213	52.9	54.4
事務職員	-	-	517,057	44.8	44.5
医療技術員	-	-	478,447	40.4	39.4
その他職員	-	-	417,671	50.0	49.8
全職員	-	-	591,022	42.2	40.3

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(％)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

備考: 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。
 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は、特別会計単位で算出している。
 薬品使用効率についてはDPC対象病院を除き算出している。
 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 平均年齢については、会計年度任用職員を含む。

病院経営比較表(令和2年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名	大阪市				
病院名	総合医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分		特殊診療機能			
病院区分		不採算地区病院			
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	-	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置			
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)						
区分	病床数	令和2年度	全国平均	類似平均	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	67.3	71.4	-	-
療養	-	-	71.4	42.2	-	-
結核	-	-	13.9	17.9	-	-
精神	-	-	59.9	49.3	-	-
感染症	-	-	25.3	25.2	-	-
計	-	-	66.4	69.6	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	18.1	12.6	-	-

一日平均患者数・外来入院患者比率 (人・％)			
区分	入院	外来	外来入院患者比率
令和2年度	-	-	-
全国平均	149	352	162.9
類似平均	421	1,002	161.1
対前年度伸率	-	-	-
令和元年度	-	-	-
対前年度伸率	-	-	-
平成30年度	-	-	-

患者1人1日当たり診療収入 (円・％)			
区分	入院	外来	
令和2年度	-	-	-
全国平均	50,452	15,123	
類似平均	70,935	21,795	
対前年度伸率	-	-	-
令和元年度	-	-	-
対前年度伸率	-	-	-
平成30年度	-	-	-

職員1人1日当たり診療収入 (円・％)			
区分	医師	看護部門	
令和2年度	-	-	-
全国平均	272,905	58,694	
類似平均	266,273	69,198	
対前年度伸率	-	-	-
令和元年度	-	-	-
対前年度伸率	-	-	-
平成30年度	-	-	-

薬品使用効率(％) 全国平均 類似平均			
投薬		117.1	
注射	-	108.3	-
計	-	111.9	-

職員1人1日当たり患者数(人) 全国平均 類似平均			
医師	入院	3.6	2.5
	外来	5.9	4.0
看護部門	入院	0.8	0.7
	外来	1.3	1.1

100床当たり職員数(人) 全国平均 類似平均			
医師	-	22.9	32.1
看護部門	-	89.1	109.8
薬剤部門	-	4.5	5.7
事務部門	-	17.8	19.4
給食部門	-	2.9	2.3
放射線部門	-	4.3	5.4
臨床検査部門	-	5.6	7.2
その他	-	14.3	14.4
全職員	-	161.4	196.3

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(％)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(％)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(％)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(％)	-
修正医業収益(千円)	-

損益計算書 (千円・％)							
区分	令和2年度			令和元年度			平成30年度
	対前年度増減率	費用 医業収益	全国平均	類似平均	対前年度増減率		
総収益	385,337	-19.9			481,057	-17.0	579,574
1 医業収益	-	-			-	-	-
(1) 入院収益	-	-			-	-	-
(2) 外来収益	-	-			-	-	-
診療収入計	-	-			-	-	-
(3) その他医業収益	-	-			-	-	-
(うち他会計負担金)	-	-			-	-	-
2 医業外収益	385,337	-19.9			481,057	-17.0	579,574
(うち国・都道府県補助金)	-	-			-	-	-
(うち他会計補助・負担金)	-	-			-	-	-
(うち長期前受金戻入)	-	-			-	-	-
(うち資本費繰入収益)	-	-			-	-	-
3 特別利益	-	-			-	-	-
(うち他会計繰入金)	-	-			-	-	-
総費用	385,337	-19.9			481,057	-17.0	579,574
1 医業費用	-	-			-	-	-
(1) 職員給与費	-	-	62.1	55.8	-	-	-
(2) 材料費	-	-	25.3	29.8	-	-	-
(うち薬品費)	-	-	13.5	16.5	-	-	-
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	13.0	-	-	-
(3) 減価償却費	-	-	9.5	8.7	-	-	-
(4) 経費	-	-	22.7	19.7	-	-	-
(うち委託料)	-	-	12.6	12.6	-	-	-
(5) 研究研修費	-	-	-	-	-	-	-
(6) 資産減耗費	-	-	-	-	-	-	-
2 医業外費用	385,337	-19.9			481,057	-17.0	579,574
(うち支払利息)	385,337	-19.9	1.3	1.2	481,057	-17.0	579,574
3 特別損失	-	-			-	-	-
損益							
経常損益	-	-			-	-	-
純損益	-	-			-	-	-
累積欠損金	11,746,596	-20.2			14,721,503	-17.1	17,759,471
経常収支比率	100.0		101.9	102.5	100.0		100.0
医業収支比率	-		83.2	87.1	-		-
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	9.1	-		-
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	11.4	-		-
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	8.9	-		-
実質収益対経常費用比率	100.0		89.3	93.2	100.0		100.0

区分	職員数(人)	平均給与月額(円)	平均年齢(歳)		
	当該病院	当該病院	全国平均	当該病院	類似平均
医師	-	-	1,400,424	-	43.0
看護師	-	-	484,378	-	40.3
准看護師	-	-	469,213	-	52.9
事務職員	-	-	517,057	-	44.8
医療技術員	-	-	478,447	-	40.4
その他職員	-	-	417,671	-	50.0
全職員	-	-	591,022	-	42.2

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(％)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

備考: 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。
 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は、特別会計単位で算出している。
 薬品使用効率についてはDPC対象病院を除き算出している。
 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 平均年齢については、会計年度任用職員を含む。

病院経営比較表(令和2年度)		都道府県名 大阪府	
市町村・組合名	大阪市		
病院名	十三市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	200床以上～300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)						
区分	病床数	令和2年度	全国平均	類似平均	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	67.3	65.3	-	-
療養	-	-	71.4	84.0	-	-
結核	-	-	13.9	2.4	-	-
精神	-	-	59.9	58.4	-	-
感染症	-	-	25.3	23.3	-	-
計	-	-	66.4	65.6	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	18.1	16.2	-	-

一日平均患者数・外来入院患者比率 (人・％)			
区分	入院	外来	外来入院患者比率
令和2年度	-	-	-
全国平均	149	352	162.9
類似平均	161	373	158.2
対前年度伸率	-	-	-
令和元年度	-	-	-
対前年度伸率	-	-	-
平成30年度	-	-	-

患者1人1日当たり診療収入 (円・％)			
区分	入院	外来	
令和2年度	-	-	-
全国平均	50,452	15,123	
類似平均	42,207	11,549	
対前年度伸率	-	-	-
令和元年度	-	-	-
対前年度伸率	-	-	-
平成30年度	-	-	-

職員1人1日当たり診療収入 (円・％)			
区分	医師	看護部門	
令和2年度	-	-	-
全国平均	272,905	58,694	
類似平均	287,985	55,725	
対前年度伸率	-	-	-
令和元年度	-	-	-
対前年度伸率	-	-	-
平成30年度	-	-	-

薬品使用効率(％)			全国平均	類似平均
投薬	-	117.1	99.8	
注射	-	108.3	103.1	
計	-	111.9	102.3	

職員1人1日当たり患者数(人)				全国平均	類似平均
医師	入院	-	3.6	4.8	
	外来	-	5.9	7.5	
看護部門	入院	-	0.8	0.9	
	外来	-	1.3	1.5	

100床当たり職員数(人)				全国平均	類似平均
医師	-	22.9	19.8		
看護部門	-	89.1	80.9		
薬剤部門	-	4.5	3.9		
事務部門	-	17.8	17.7		
給食部門	-	2.9	2.6		
放射線部門	-	4.3	3.7		
臨床検査部門	-	5.6	4.8		
その他	-	14.3	15.0		
全職員	-	161.4	148.3		

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(％)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(％)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(％)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(％)	-
修正医業収益(千円)	-

損益計算書 (千円・％)							
区分	令和2年度			令和元年度			平成30年度
	対前年度増減率	費用 医業収益	全国平均	類似平均	対前年度増減率		
総収益	141,517	-7.7			153,347	-7.0	164,901
1 医業収益	-	-			-	-	-
(1) 入院収益	-	-			-	-	-
(2) 外来収益	-	-			-	-	-
診療収入計	-	-			-	-	-
(3) その他医業収益	-	-			-	-	-
(うち他会計負担金)	-	-			-	-	-
2 医業外収益	141,517	-7.7			153,347	-7.0	164,901
(うち国・都道府県補助金)	-	-			-	-	-
(うち他会計補助・負担金)	-	-			-	-	-
(うち長期前受金戻入)	-	-			-	-	-
(うち資本費繰入収益)	-	-			-	-	-
3 特別利益	-	-			-	-	-
(うち他会計繰入金)	-	-			-	-	-
総費用	141,517	-7.7			153,347	-7.0	164,901
1 医業費用	-	-			-	-	-
(1) 職員給与費	-	-	62.1	66.1	-	-	-
(2) 材料費	-	-	25.3	19.8	-	-	-
(うち薬品費)	-	-	13.5	10.0	-	-	-
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	9.3	-	-	-
(3) 減価償却費	-	-	9.5	10.2	-	-	-
(4) 経費	-	-	22.7	28.2	-	-	-
(うち委託料)	-	-	12.6	13.6	-	-	-
(5) 研究研修費	-	-	-	-	-	-	-
(6) 資産減耗費	-	-	-	-	-	-	-
2 医業外費用	141,517	-7.7			153,347	-7.0	164,901
(うち支払利息)	141,517	-7.7	1.3	1.6	153,347	-7.0	164,901
3 特別損失	-	-			-	-	-
損益							
経常損益	-	-			-	-	-
純損益	-	-			-	-	-
累積欠損金	6,858,926	-7.9			7,450,196	-7.6	8,066,986
経常収支比率	100.0		101.9	99.9	100.0		100.0
医業収支比率	-		83.2	80.1	-		-
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	13.3	-		-
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	17.7	-		-
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	13.3	-		-
実質収益対経常費用比率	100.0		89.3	86.6	100.0		100.0

区分	職員数(人)		平均給与月額(円)		平均年齢(歳)	
	当該病院	全国平均	当該病院	全国平均	当該病院	類似平均
医師	-	-	1,400,424	-	43.0	45.8
看護師	-	-	484,378	-	40.3	41.0
准看護師	-	-	469,213	-	52.9	51.2
事務職員	-	-	517,057	-	44.8	44.9
医療技術員	-	-	478,447	-	40.4	39.7
その他職員	-	-	417,671	-	50.0	49.6
全職員	-	-	591,022	-	42.2	42.8

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(％)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。
 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は、特別会計単位で算出している。
 薬品使用効率についてはDPC対象病院を除き算出している。
 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 平均年齢については、会計年度任用職員を含む。

病院経営比較表(令和2年度)				都道府県名 大阪府
市町村・組合名	堺市			
病院名	堺病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分		特殊診療機能		
病院区分		不採算地区病院		
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院		
診療科数	-	指定病院の状況		
許可公営企業		看護配置		
DPC対象病院	-	経営形態	直営	
		類似区分	400床以上～500床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)						
区分	病床数	令和2年度	全国平均	類似平均	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	67.3	68.4	-	-
療養	-	-	71.4	76.9	-	-
結核	-	-	13.9	12.0	-	-
精神	-	-	59.9	54.6	-	-
感染症	-	-	25.3	18.8	-	-
計	-	-	66.4	67.2	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	18.1	12.5	-	-

一日平均患者数・外来入院患者比率 (人・％)			
区分	入院	外来	外来入院患者比率
令和2年度	-	-	-
全国平均	149	352	162.9
類似平均	298	745	168.2
対前年度伸率	-	-	-
令和元年度	-	-	-
対前年度伸率	-	-	-
平成30年度	-	-	-

患者1人1日当たり診療収入 (円・％)			
区分	入院	外来	
令和2年度	-	-	-
全国平均	50,452	15,123	
類似平均	59,138	16,938	
対前年度伸率	-	-	-
令和元年度	-	-	-
対前年度伸率	-	-	-
平成30年度	-	-	-

職員1人1日当たり診療収入 (円・％)			
区分	医師	看護部門	
令和2年度	-	-	-
全国平均	272,905	58,694	
類似平均	266,603	62,468	
対前年度伸率	-	-	-
令和元年度	-	-	-
対前年度伸率	-	-	-
平成30年度	-	-	-

薬品使用効率(％) 全国平均 類似平均			
投薬		117.1	
注射	-	108.3	-
計	-	111.9	-

職員1人1日当たり患者数(人) 全国平均 類似平均			
医師	入院	3.6	3.0
	外来	5.9	5.1
看護部門	入院	0.8	0.7
	外来	1.3	1.2

100床当たり職員数(人) 全国平均 類似平均			
医師	-	22.9	27.3
看護部門	-	89.1	97.4
薬剤部門	-	4.5	5.1
事務部門	-	17.8	19.1
給食部門	-	2.9	3.3
放射線部門	-	4.3	4.9
臨床検査部門	-	5.6	6.6
その他	-	14.3	13.0
全職員	-	161.4	176.8

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(％)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(％)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(％)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(％)	-
修正医業収益(千円)	-

損益計算書 (千円・％)						
区分	令和2年度			令和元年度		
	対前年度増減率	費用 医業収益	全国平均	類似平均	対前年度増減率	平成30年度
総収益	-	-	-	-	-	-
1 医業収益	-	-	-	-	-	-
(1) 入院収益	-	-	-	-	-	-
(2) 外来収益	-	-	-	-	-	-
診療収入計	-	-	-	-	-	-
(3) その他医業収益	-	-	-	-	-	-
(うち他会計負担金)	-	-	-	-	-	-
2 医業外収益	-	-	-	-	-	-
(うち国・都道府県補助金)	-	-	-	-	-	-
(うち他会計補助・負担金)	-	-	-	-	-	-
(うち長期前受金戻入)	-	-	-	-	-	-
(うち資本費繰入収益)	-	-	-	-	-	-
3 特別利益	-	-	-	-	-	-
(うち他会計繰入金)	-	-	-	-	-	-
総費用	170,857	-4.4			178,784	-3.4
1 医業費用	-	-	-	-	-	-
(1) 職員給与費	-	-	62.1	59.8	-	-
(2) 材料費	-	-	25.3	27.7	-	-
(うち薬品費)	-	-	13.5	14.8	-	-
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	12.4	-	-
(3) 減価償却費	-	-	9.5	8.2	-	-
(4) 経費	-	-	22.7	19.2	-	-
(うち委託料)	-	-	12.6	10.2	-	-
(5) 研究研修費	-	-	-	-	-	-
(6) 資産減耗費	-	-	-	-	-	-
2 医業外費用	170,857	-4.4			178,784	-3.4
(うち支払利息)	170,857	-4.4	1.3	1.2	178,784	-3.4
3 特別損失	-	-	-	-	-	-
損益						
経常損益	-170,857		-178,784		-178,784	
純損益	-170,857		-178,784		-178,784	
累積欠損金	-	-	-	-	-	-
経常収支比率	-		101.9	103.7	-	-
医業収支比率	-		83.2	86.6	-	-
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	10.2	-	-
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	12.9	-	-
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	10.1	-	-
実質収益対経常費用比率	-		89.3	93.1	-	-

区分	職員数(人)	平均給与月額(円)	平均年齢(歳)	
	当該病院	当該病院	全国平均	類似平均
医師	-	-	1,400,424	43.0
看護師	-	-	484,378	40.3
准看護師	-	-	469,213	52.9
事務職員	-	-	517,057	44.8
医療技術員	-	-	478,447	40.4
その他職員	-	-	417,671	50.0
全職員	-	-	591,022	42.2

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(％)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

備考: 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。
 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は、特別会計単位で算出している。
 薬品使用効率についてはDPC対象病院を除き算出している。
 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 平均年齢については、会計年度任用職員を含む。

病院経営比較表(令和2年度)

都道府県名
大阪府

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

市町村・組合名	岸和田市		
病院名	岸和田市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透I 訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	30,575 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	32	指定病院の状況	救臨が 地 輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	400床以上～500床未満

区分	病床数	令和2年度	全国平均	類似平均	令和元年度	平成30年度
一般	400	66.3	67.3	68.4	76.4	79.8
療養	-	-	71.4	76.9	-	-
結核	-	-	13.9	12.0	-	-
精神	-	-	59.9	54.6	-	-
感染症	-	-	25.3	18.8	-	-
計	400	66.3	66.4	67.2	76.4	79.8
平均在院日数(一般病床のみ)		10.8	18.1	12.5	11.1	10.9

区分	入院	外来	外来入院患者比率
令和2年度	265	887	222.7
全国平均	149	352	162.9
類似平均	298	745	168.2
対前年度伸率	-13.4	-12.4	
令和元年度	306	1,013	217.2
対前年度伸率	-4.1	-0.5	
平成30年度	319	1,018	213.1

区分	令和2年度		費用 医業収益	全国平均	類似平均	令和元年度		平成30年度
	対前年度増減率					対前年度増減率		
総収益	14,577,790	4.9				13,902,746	-1.9	14,165,075
1 医業収益	11,427,077	-10.6				12,788,761	-1.2	12,946,239
(1) 入院収益	6,654,495	-9.4				7,341,009	-3.1	7,574,534
(2) 外来収益	4,377,085	-11.9				4,967,763	2.7	4,836,300
診療収入計	11,031,580	-10.4				12,308,772	-0.8	12,410,834
(3) その他医業収益	395,497	-17.6				479,989	-10.4	535,405
(うち他会計負担金)	228,596	-14.4				267,165	-12.3	304,744
2 医業外収益	3,149,523	182.7				1,113,985	-8.2	1,213,369
(うち国・都道府県補助金)	2,153,490	9271.6				22,979	5.9	21,691
(うち他会計補助・負担金)	823,448	-1.3				834,689	-8.0	907,123
(うち長期前受金戻入)	13,713	-11.8				15,547	-2.6	15,954
(うち資本費繰入収益)	-	-				-	-	-
3 特別利益	1,190	-				-	-	5,467
(うち他会計繰入金)	-	-				-	-	-
総費用	13,606,200	-3.3				14,064,495	2.8	13,676,354
1 医業費用	12,754,440	-2.2				13,041,269	1.8	12,808,791
(1) 職員給与費	6,424,441	2.6	56.2	62.1	59.8	6,259,594	4.0	6,020,294
(2) 材料費	3,515,969	-11.2	30.8	25.3	27.7	3,957,934	2.2	3,870,904
(うち薬品費)	1,909,941	-17.1	16.7	13.5	14.8	2,303,478	3.5	2,224,882
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,534,883	-2.3	13.4	11.4	12.4	1,571,508	0.8	1,558,292
(3) 減価償却費	655,982	-13.6	5.7	9.5	8.2	759,150	-13.1	873,499
(4) 経費	2,102,898	5.6	18.4	22.7	19.2	1,990,483	1.2	1,967,532
(うち委託料)	1,426,332	4.8	12.5	12.6	10.2	1,361,373	2.7	1,325,498
(5) 研究研修費	35,664	-26.3				48,368	-10.2	53,837
(6) 資産減耗費	19,486	-24.3				25,740	13.3	22,725
2 医業外費用	840,176	-3.8				872,961	1.8	857,685
(うち支払利息)	219,407	-14.8	1.9	1.3	1.2	257,432	-13.2	296,454
3 特別損失	11,584	-92.3				150,265	1421.2	9,878
損益								
経常損益	981,984					-11,484		493,132
純損益	971,590					-161,749		488,721
累積欠損金	3,505,879	-21.7				4,477,469	3.7	4,315,720
経常収支比率	107.2			101.9	103.7	99.9		103.6
医業収支比率	89.6			83.2	86.6	98.1		101.1
他会計繰入金対経常収益比率	7.2			12.3	10.2	7.9		8.6
他会計繰入金対医業収益比率	9.2			16.0	12.9	8.6		9.4
他会計繰入金対総収益比率	7.2			12.2	10.1	7.9		8.6
実質収益対経常費用比率	99.5			89.3	93.1	92.0		94.7

区分	入院	外来
令和2年度	68,719	20,298
全国平均	50,452	15,123
類似平均	59,138	16,938
対前年度伸率	4.8	-0.7
令和元年度	65,596	20,437
対前年度伸率	0.9	5.0
平成30年度	64,980	19,469

区分	医師	看護部門
令和2年度	253,839	70,582
全国平均	272,905	58,694
類似平均	266,603	62,468
対前年度伸率	-18.4	-23.0
令和元年度	311,158	91,665
対前年度伸率	-4.4	2.4
平成30年度	325,351	89,511

投薬	注 射
-	117.1
-	108.3
-	111.9

区分	入院	外来
医師	2.2	3.6
	5.0	5.9
看護部門	0.6	0.8
	1.4	1.3

区分	医師	看護部門	薬剤部門	事務部門	給食部門	放射線部門	臨床検査部門	その他	全職員
	49.0	22.9	27.3	105.3	89.1	97.4	5.5	4.5	5.1
	17.8	17.8	19.1	1.5	2.9	3.3	5.5	4.3	4.9
	8.5	5.6	6.6	14.8	14.3	13.0	207.8	161.4	176.8

項目	比率(%)
累積欠損金比率(%)	30.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

項目	比率(%)	金額(千円)
修正医業収支比率(%)	87.8	
修正医業収益(千円)		11,198,481

区分	職員数(人)	平均給与月額(円)		平均年齢(歳)		
		当該病院	全国平均	当該病院	全国平均	類似平均
医師	92	1,350,243	1,400,424	47.1	43.0	42.6
看護師	332	497,755	484,378	39.4	40.3	39.5
准看護師	-	-	469,213	54.7	52.9	51.8
事務職員	21	620,472	517,057	44.5	44.8	45.0
医療技術員	110	534,401	478,447	41.6	40.4	40.0
その他職員	-	-	417,671	-	50.0	49.1
全職員	555	649,577	591,022	42.2	42.2	41.5

区分	基準額	実績繰入額
収益勘定繰入	1,578,853	1,052,044
資本勘定繰入	682,487	350,000
計	2,261,340	1,402,044

年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	548,064	4.3
平成30年度	151,488	1.2

備考: 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。
「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は、特別会計単位で算出している。
薬品使用効率についてはDPC対象病院を除き算出している。
修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
平均年齢については、会計年度任用職員を含む。

病院経営比較表(令和2年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名	豊中市				
病院名	市立豊中病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	67,544 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	24	指定病院の状況	救臨が感地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)						
区分	病床数	令和2年度	全国平均	類似平均	令和元年度	平成30年度
一般	599	63.1	67.3	71.4	82.3	85.9
療養	-	-	71.4	42.2	-	-
結核	-	-	13.9	17.9	-	-
精神	-	-	59.9	49.3	-	-
感染症	14	1.8	25.3	25.2	4.0	-
計	613	61.7	66.4	69.6	80.5	83.9
平均在院日数(一般病床のみ)		10.7	18.1	12.6	10.4	11.0

一日平均患者数・外来入院患者比率 (人・%)			
区分	入院	外来	外来入院患者比率
令和2年度	378	993	174.7
全国平均	149	352	162.9
類似平均	421	1,002	161.1
対前年度伸率	-23.5	-17.0	
令和元年度	494	1,197	160.3
対前年度伸率	-3.9	-0.3	
平成30年度	514	1,201	156.1

患者1人1日当たり診療収入 (円・%)			
区分	入院	外来	
令和2年度	70,114		19,130
全国平均	50,452		15,123
類似平均	70,935		21,795
対前年度伸率		8.6	5.0
令和元年度	64,538		18,220
対前年度伸率		5.2	7.3
平成30年度	61,319		16,975

職員1人1日当たり診療収入 (円・%)			
区分	医師	看護部門	
令和2年度	232,650		63,814
全国平均	272,905		58,694
類似平均	266,273		69,198
対前年度伸率	-4.3		-26.2
令和元年度	242,993		86,475
対前年度伸率	-		2.0
平成30年度	242,992		84,764

薬品使用効率(%)			
区分	全国平均	類似平均	
投薬	117.1		-
注射	108.3		-
計	111.9		-

職員1人1日当たり患者数(人)			
区分	入院	外来	類似平均
医師	2.2	3.6	2.5
	3.9	5.9	4.0
看護部門	0.6	0.8	0.7
	1.1	1.3	1.1

100床当たり職員数(人)			
区分	全国平均	類似平均	
医師	31.0	22.9	32.1
看護部門	106.7	89.1	109.8
薬剤部門	6.9	4.5	5.7
事務部門	24.6	17.8	19.4
給食部門	1.6	2.9	2.3
放射線部門	3.9	4.3	5.4
臨床検査部門	7.0	5.6	7.2
その他	6.0	14.3	14.4
全職員	187.8	161.4	196.3

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	7.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	77.8
修正医業収益(千円)	14,540,043

損益計算書 (千円・%)							
区分	令和2年度			令和元年度			平成30年度
	対前年度増減率	費用 医業収益	全国平均	類似平均	対前年度増減率		
総収益	20,456,622	5.5			19,397,048	2.3	18,969,426
1 医業収益	14,983,627	-15.4			17,720,704	2.6	17,279,299
(1) 入院収益	9,680,228	-17.0			11,662,264	1.3	11,511,746
(2) 外来収益	4,614,962	-12.6			5,277,260	6.1	4,974,300
診療収入計	14,295,190	-15.6			16,939,524	2.8	16,486,046
(3) その他医業収益	688,437	-11.9			781,180	-1.5	793,253
(うち他会計負担金)	443,584	2.4			433,193	1.5	426,885
2 医業外収益	5,472,995	226.5			1,676,344	-0.8	1,690,127
(うち国・都道府県補助金)	3,894,018	5130.5			74,448	5.7	70,402
(うち他会計補助・負担金)	970,317	4.0			933,258	-1.7	949,431
(うち長期前受金戻入)	478,651	-1.1			483,935	-1.2	489,850
(うち資本費繰入収益)	-	-			-	-	-
3 特別利益	-	-			-	-	-
(うち他会計繰入金)	-	-			-	-	-
総費用	19,715,557	-2.6			20,234,799	3.4	19,571,265
1 医業費用	18,694,471	-2.9			19,243,940	3.4	18,604,084
(1) 職員給与費	9,875,327	6.1	65.9	62.1	9,309,547	1.9	9,136,304
(2) 材料費	4,389,919	-13.0	29.3	25.3	5,048,049	7.3	4,705,199
(うち薬品費)	2,441,195	-13.8	16.3	13.5	2,831,873	6.2	2,665,315
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,837,938	-12.0	12.3	11.4	2,087,772	9.8	1,902,204
(3) 減価償却費	1,240,533	-9.8	8.3	9.5	1,375,300	4.2	1,319,969
(4) 経費	3,093,038	-10.3	20.6	22.7	3,447,556	4.5	3,300,021
(うち委託料)	1,868,575	6.1	12.5	12.6	1,761,425	1.9	1,728,655
(5) 研究研修費	30,228	-44.7			54,644	-16.8	65,675
(6) 資産減耗費	65,426	639.8			8,844	-88.5	76,916
2 医業外費用	1,021,086	3.1			990,859	2.4	967,181
(うち支払利息)	184,563	-13.2	1.2	1.3	212,572	-11.3	239,587
3 特別損失	-	-			-	-	-
損益	741,065				-837,751		-601,839
経常損益	741,065				-837,751		-601,839
純損益	741,065				-837,751		-601,839
累積欠損金	1,093,770	-40.4			1,834,835	84.0	997,084
経常収支比率	103.8		101.9	102.5	95.9		96.9
医業収支比率	80.2		83.2	87.1	92.1		92.9
他会計繰入金対経常収益比率	6.9		12.3	9.1	7.0		7.3
他会計繰入金対医業収益比率	9.4		16.0	11.4	7.7		8.0
他会計繰入金対総収益比率	6.9		12.2	8.9	7.0		7.3
実質収益対経常費用比率	96.6		89.3	93.2	89.1		89.9

区分	職員数(人)		平均給与月額(円)		平均年齢(歳)		
	当該病院	当該病院	全国平均	当該病院	全国平均	類似平均	
医師	115	1,391,469	1,400,424	39.6	43.0	40.6	
看護師	537	533,271	484,378	36.8	40.3	38.4	
准看護師	-	-	469,213	-	52.9	54.4	
事務職員	54	610,536	517,057	46.6	44.8	44.5	
医療技術員	117	596,491	478,447	42.2	40.4	39.4	
その他職員	-	-	417,671	57.2	50.0	49.8	
全職員	823	666,898	591,022	40.3	42.2	40.3	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,375,253	1,413,901
資本勘定繰入	898,363	898,363
計	2,273,616	2,312,264

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

備考: 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。
「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は、特別会計単位で算出している。
薬品使用効率についてはDPC対象病院を除き算出している。
修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
平均年齢については、会計年度任用職員を含む。

病院経営比較表(令和2年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名	池田市				
病院名	市立池田病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	39,005 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	23	指定病院の状況	救臨地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)						
区分	病床数	令和2年度	全国平均	類似平均	令和元年度	平成30年度
一般	364	81.6	67.3	66.8	91.5	90.7
療養	-	-	71.4	53.9	-	-
結核	-	-	13.9	12.9	-	-
精神	-	-	59.9	58.4	-	-
感染症	-	-	25.3	34.6	-	-
計	364	81.6	66.4	65.7	91.5	90.7
平均在院日数(一般病床のみ)		11.1	18.1	13.6	10.7	10.9

一日平均患者数・外来入院患者比率(人%)			
区分	入院	外来	外来入院患者比率
令和2年度	297	856	191.8
全国平均	149	352	162.9
類似平均	218	543	166.8
対前年度伸率	-10.8	-9.0	
令和元年度	333	941	186.8
対前年度伸率	0.9	3.1	
平成30年度	330	913	184.9

患者1人1日当たり診療収入(円%)			
区分	入院	外来	
令和2年度	68,935		19,848
全国平均	50,452		15,123
類似平均	52,314		14,720
対前年度伸率	8.3		15.3
令和元年度	63,667		17,211
対前年度伸率	3.9		4.7
平成30年度	61,292		16,433

職員1人1日当たり診療収入(円%)			
区分	医師	看護部門	
令和2年度	268,074		81,316
全国平均	272,905		58,694
類似平均	275,365		56,918
対前年度伸率	-6.1		-13.7
令和元年度	285,467		94,183
対前年度伸率	4.7		14.3
平成30年度	272,657		82,391

薬品使用効率(%)			
区分	全国平均	類似平均	
投薬	117.1		112.7
注射	108.3		109.3
計	111.9		109.9

職員1人1日当たり患者数(人)			
区分	入院	全国平均	類似平均
医師	2.5	3.6	3.6
	4.8	5.9	6.0
看護部門	0.8	0.8	0.7
	1.5	1.3	1.2

100床当たり職員数(人)			
区分	全国平均	類似平均	
医師	36.8	22.9	22.9
看護部門	105.2	89.1	92.2
薬剤部門	7.7	4.5	4.7
事務部門	19.2	17.8	18.5
給食部門	1.6	2.9	2.7
放射線部門	7.1	4.3	4.5
臨床検査部門	8.0	5.6	6.0
その他	26.6	14.3	14.4
全職員	212.4	161.4	166.0

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	147.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	97.9
修正医業収益(千円)	11,892,036

区分	令和2年度				令和元年度			
	対前年度増減率	費用 医業収益	全国平均	類似平均	対前年度増減率	平成30年度		
総収益	7.3	13,343,295			2.7	12,429,722		12,105,631
1 医業収益	-1.5	11,972,567			4.4	12,153,668		11,642,622
(1) 入院収益	-3.7	7,473,893			5.0	7,759,707		7,387,430
(2) 外来収益	5.4	4,127,805			7.0	3,917,606		3,662,002
診療収入計	-0.6	11,601,698			5.7	11,677,313		11,049,432
(3) その他医業収益	-22.1	370,869			-19.7	476,355		593,190
(うち他会計負担金)	-46.4	80,531			-43.2	150,238		264,292
2 医業外収益	396.5	1,370,728			-33.2	276,054		413,009
(うち国・都道府県補助金)	5139.7	1,139,796			23.9	21,753		17,552
(うち他会計補助・負担金)	-12.2	113,036			-51.6	128,769		265,925
(うち長期前受金戻入)	17.4	10,730			34.0	9,139		6,819
(うち資本費繰入収益)	-	-			-	-		-
3 特別利益	-	-			-	-		50,000
(うち他会計繰入金)	-	-			-	-		-
総費用	1.3	12,850,901			4.1	12,684,678		12,190,060
1 医業費用	1.1	12,150,090			4.4	12,012,036		11,509,546
(1) 職員給与費	6.7	6,037,783	50.4	62.1	1.8	5,661,281	63.5	5,558,534
(2) 材料費	3.5	3,397,747	28.4	25.3	6.7	3,284,004	24.9	3,076,722
(うち薬品費)	6.0	2,091,746	17.5	13.5	8.6	1,972,992	12.7	1,817,523
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-0.4	1,296,012	10.8	11.4	9.3	1,301,694	11.8	1,191,481
(3) 減価償却費	-0.6	797,189	6.7	9.5	4.4	801,840	10.0	768,168
(4) 経費	-14.1	1,885,333	15.7	22.7	7.4	2,195,426	21.7	2,044,419
(うち委託料)	-5.0	1,332,142	11.1	12.6	14.4	1,402,275	12.2	1,225,512
(5) 研究研修費	-26.5	28,809			-0.4	39,183		39,323
(6) 資産減耗費	-89.3	3,229			35.4	30,302		22,380
2 医業外費用	4.2	700,811			6.7	672,637		630,514
(うち支払利息)	-12.2	173,125	1.4	1.3	-10.2	197,118	1.4	219,497
3 特別損失	-	-			5	5		50,000
損益		492,394				-254,951		-84,429
経常損益		492,394				-254,956		-84,429
純損益		492,394				-254,956		-84,429
累積欠損金	-2.7	17,668,574			1.4	18,160,968		17,906,012
経常収支比率		103.8		101.9		98.0		99.3
医業収支比率		98.5		83.2		101.2		101.2
他会計繰入金対経常収益比率		1.5		12.3		2.2		4.4
他会計繰入金対医業収益比率		1.6		16.0		2.3		4.6
他会計繰入金対総収益比率		1.5		12.2		2.2		4.4
実質収益対経常費用比率		102.3		89.3		95.8		94.9

区分	職員数(人)	平均給与月額(円)		平均年齢(歳)		
	当該病院	当該病院	全国平均	当該病院	全国平均	類似平均
医師	84	1,259,288	1,400,424	40.8	43.0	43.4
看護師	305	478,706	484,378	39.1	40.3	40.0
准看護師	1	725,417	469,213	59.2	52.9	53.9
事務職員	21	625,309	517,057	45.8	44.8	44.3
医療技術員	69	794,098	478,447	39.0	40.4	39.6
その他職員	40	169,955	417,671	49.7	50.0	49.7
全職員	520	613,498	591,022	41.4	42.2	41.9

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績繰入額
収益勘定繰入	561,815	193,567
資本勘定繰入	794,433	794,433
計	1,356,248	988,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

備考: 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。
 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は、特別会計単位で算出している。
 薬品使用効率についてはDPC対象病院を除き算出している。
 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 平均年齢については、会計年度任用職員を含む。

病院経営比較表(令和2年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名	吹田市				
病院名	吹田市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分		特殊診療機能			
病院区分		不採算地区病院			
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	-	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置			
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)						
区分	病床数	令和2年度	全国平均	類似平均	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	67.3	68.4	-	-
療養	-	-	71.4	76.9	-	-
結核	-	-	13.9	12.0	-	-
精神	-	-	59.9	54.6	-	-
感染症	-	-	25.3	18.8	-	-
計	-	-	66.4	67.2	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	18.1	12.5	-	-

一日平均患者数・外来入院患者比率 (人・％)			
区分	入院	外来	外来入院患者比率
令和2年度	-	-	-
全国平均	149	352	162.9
類似平均	298	745	168.2
対前年度伸率	-	-	-
令和元年度	-	-	-
対前年度伸率	-	-	-
平成30年度	-	-	-

患者1人1日当たり診療収入 (円・％)			
区分	入院	外来	
令和2年度	-	-	-
全国平均	50,452	15,123	
類似平均	59,138	16,938	
対前年度伸率	-	-	-
令和元年度	-	-	-
対前年度伸率	-	-	-
平成30年度	-	-	-

職員1人1日当たり診療収入 (円・％)			
区分	医師	看護部門	
令和2年度	-	-	-
全国平均	272,905	58,694	
類似平均	266,603	62,468	
対前年度伸率	-	-	-
令和元年度	-	-	-
対前年度伸率	-	-	-
平成30年度	-	-	-

薬品使用効率(％) 全国平均 類似平均			
投薬		117.1	
注射	-	108.3	-
計	-	111.9	-

職員1人1日当たり患者数(人) 全国平均 類似平均			
医師	入院	3.6	3.0
	外来	5.9	5.1
看護部門	入院	0.8	0.7
	外来	1.3	1.2

100床当たり職員数(人) 全国平均 類似平均			
医師	-	22.9	27.3
看護部門	-	89.1	97.4
薬剤部門	-	4.5	5.1
事務部門	-	17.8	19.1
給食部門	-	2.9	3.3
放射線部門	-	4.3	4.9
臨床検査部門	-	5.6	6.6
その他	-	14.3	13.0
全職員	-	161.4	176.8

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(％)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(％)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(％)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(％)	-
修正医業収益(千円)	-

損益計算書 (千円・％)							
区分	令和2年度			令和元年度			
	対前年度増減率	費用	全国平均	類似平均	対前年度増減率	平成30年度	
総収益	131,481	-3.2			135,822	24.2	109,375
1 医業収益	-	-			-	-	-
(1) 入院収益	-	-			-	-	-
(2) 外来収益	-	-			-	-	-
診療収入計	-	-			-	-	-
(3) その他医業収益	-	-			-	-	-
(うち他会計負担金)	-	-			-	-	-
2 医業外収益	131,481	-3.2			135,822	24.2	109,375
(うち国・都道府県補助金)	-	-			-	-	-
(うち他会計補助・負担金)	-	-			-	-	-
(うち長期前受金戻入)	-	-			-	-	-
(うち資本費繰入収益)	-	-			-	-	-
3 特別利益	-	-			-	-	-
(うち他会計繰入金)	-	-			-	-	-
総費用	131,481	-3.2			135,822	24.2	109,375
1 医業費用	-	-			-	-	-
(1) 職員給与費	-	-	62.1	59.8	-	-	-
(2) 材料費	-	-	25.3	27.7	-	-	-
(うち薬品費)	-	-	13.5	14.8	-	-	-
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	12.4	-	-	-
(3) 減価償却費	-	-	9.5	8.2	-	-	-
(4) 経費	-	-	22.7	19.2	-	-	-
(うち委託料)	-	-	12.6	10.2	-	-	-
(5) 研究研修費	-	-	-	-	-	-	-
(6) 資産減耗費	-	-	-	-	-	-	-
2 医業外費用	131,481	-3.2			135,822	24.2	109,375
(うち支払利息)	131,481	-3.2	1.3	1.2	135,822	24.2	109,375
3 特別損失	-	-			-	-	-
損益							
経常損益	-	-			-	-	-
純損益	-	-			-	-	-
累積欠損金	-	-			-	-	-
経常収支比率	100.0		101.9	103.7	100.0		100.0
医業収支比率	-		83.2	86.6	-		-
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	10.2	-		-
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	12.9	-		-
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	10.1	-		-
実質収益対経常費用比率	100.0		89.3	93.1	100.0		100.0

区分	職員数(人)		平均給与月額(円)		平均年齢(歳)	
	当該病院	全国平均	当該病院	全国平均	当該病院	類似平均
医師	-	-	1,400,424	-	43.0	42.6
看護師	-	-	484,378	-	40.3	39.5
准看護師	-	-	469,213	-	52.9	51.8
事務職員	-	-	517,057	-	44.8	45.0
医療技術員	-	-	478,447	-	40.4	40.0
その他職員	-	-	417,671	-	50.0	49.1
全職員	-	-	591,022	-	42.2	41.5

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(％)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

備考: 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。
 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は、特別会計単位で算出している。
 薬品使用効率についてはDPC対象病院を除き算出している。
 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 平均年齢については、会計年度任用職員を含む。

病院経営比較表(令和2年度)

都道府県名 大阪府

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

Table with 4 columns: 市町村・組合名, 病院名, 施設及び業務概況等, 法適用区分. Includes details for 市立病院.

Table with 7 columns: 区分, 病床数, 令和2年度, 全国平均, 類似平均, 令和元年度, 平成30年度. Focuses on 病床利用率 and 平均在院日数.

Table with 4 columns: 区分, 入院, 外来, 外来入院患者比率. Focuses on 一日平均患者数 and 外来入院患者比率.

Table with 4 columns: 区分, 入院, 外来, 外来入院患者比率. Focuses on 患者1人1日当たり診療収入.

Table with 4 columns: 区分, 医師, 看護部門. Focuses on 職員1人1日当たり診療収入.

Table with 4 columns: 薬品使用効率(%), 全国平均, 類似平均. Focuses on 薬品使用効率.

Table with 4 columns: 職員1人1日当たり患者数(人), 全国平均, 類似平均. Focuses on 職員1人1日当たり患者数.

Table with 4 columns: 100床当たり職員数(人), 全国平均, 類似平均. Focuses on 100床当たり職員数.

Table with 2 columns: 資金不足等の状況. Focuses on 資金不足等の状況.

Table with 2 columns: 修正医業収支の状況. Focuses on 修正医業収支の状況.

Main financial statement table with 8 columns: 区分, 令和2年度, 対前年度増減率, 費用, 全国平均, 類似平均, 令和元年度, 平成30年度. Includes 総収益, 総費用, 損益, and various ratios.

Table with 6 columns: 区分, 職員数(人), 平均給与月額(円), 平均年齢(歳). Focuses on 職員数 and 平均給与月額.

Table with 3 columns: 他会計からの繰入状況(千円), 区分, 基準額, 実績入額. Focuses on 他会計からの繰入状況.

Table with 4 columns: 不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移. Focuses on 不良債務額 and 不良債務比率.

備考: 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。
「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は、特別会計単位で算出している。
薬品使用効率についてはDPC対象病院を除き算出している。
修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
平均年齢については、会計年度任用職員を含む。

病院経営比較表(令和2年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名	泉佐野市				
病院名	泉佐野病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分		特殊診療機能			
病院区分		不採算地区病院			
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	-	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置			
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)						
区分	病床数	令和2年度	全国平均	類似平均	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	67.3	66.8	-	-
療養	-	-	71.4	53.9	-	-
結核	-	-	13.9	12.9	-	-
精神	-	-	59.9	58.4	-	-
感染症	-	-	25.3	34.6	-	-
計	-	-	66.4	65.7	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	18.1	13.6	-	-

一日平均患者数・外来入院患者比率 (人・％)			
区分	入院	外来	外来入院患者比率
令和2年度	-	-	-
全国平均	149	352	162.9
類似平均	218	543	166.8
対前年度伸率	-	-	-
令和元年度	-	-	-
対前年度伸率	-	-	-
平成30年度	-	-	-

患者1人1日当たり診療収入 (円・％)			
区分	入院	外来	
令和2年度	-	-	-
全国平均	50,452	15,123	
類似平均	52,314	14,720	
対前年度伸率	-	-	-
令和元年度	-	-	-
対前年度伸率	-	-	-
平成30年度	-	-	-

職員1人1日当たり診療収入 (円・％)			
区分	医師	看護部門	
令和2年度	-	-	-
全国平均	272,905	58,694	
類似平均	275,365	56,918	
対前年度伸率	-	-	-
令和元年度	-	-	-
対前年度伸率	-	-	-
平成30年度	-	-	-

薬品使用効率(％) 全国平均 類似平均			
投薬		117.1	112.7
注射	-	108.3	109.3
計	-	111.9	109.9

職員1人1日当たり患者数(人) 全国平均 類似平均				
医師	入院	-	3.6	3.6
	外来	-	5.9	6.0
看護部門	入院	-	0.8	0.7
	外来	-	1.3	1.2

100床当たり職員数(人) 全国平均 類似平均			
医師	-	22.9	22.9
看護部門	-	89.1	92.2
薬剤部門	-	4.5	4.7
事務部門	-	17.8	18.5
給食部門	-	2.9	2.7
放射線部門	-	4.3	4.5
臨床検査部門	-	5.6	6.0
その他	-	14.3	14.4
全職員	-	161.4	166.0

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(％)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(％)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(％)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(％)	-
修正医業収益(千円)	-

損益計算書 (千円・％)							
区分	令和2年度			令和元年度			平成30年度
	対前年度増減率	費用 医業収益	全国平均	類似平均	対前年度増減率		
総収益	180,931	-11.8			205,198	-10.3	228,825
1 医業収益	-	-			-	-	-
(1) 入院収益	-	-			-	-	-
(2) 外来収益	-	-			-	-	-
診療収入計	-	-			-	-	-
(3) その他医業収益	-	-			-	-	-
(うち他会計負担金)	-	-			-	-	-
2 医業外収益	180,931	-11.8			205,198	-10.3	228,825
(うち国・都道府県補助金)	-	-			-	-	-
(うち他会計補助・負担金)	-	-			-	-	-
(うち長期前受金戻入)	-	-			-	-	-
(うち資本費繰入収益)	-	-			-	-	-
3 特別利益	-	-			-	-	-
(うち他会計繰入金)	-	-			-	-	-
総費用	180,931	-11.8			205,198	-10.3	228,825
1 医業費用	-	-			-	-	-
(1) 職員給与費	-	-	62.1	63.5	-	-	-
(2) 材料費	-	-	25.3	24.9	-	-	-
(うち薬品費)	-	-	13.5	12.7	-	-	-
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	11.8	-	-	-
(3) 減価償却費	-	-	9.5	10.0	-	-	-
(4) 経費	-	-	22.7	21.7	-	-	-
(うち委託料)	-	-	12.6	12.2	-	-	-
(5) 研究研修費	-	-	-	-	-	-	-
(6) 資産減耗費	-	-	-	-	-	-	-
2 医業外費用	180,931	-11.8			205,198	-10.3	228,825
(うち支払利息)	180,931	-11.8	-	1.3	205,198	-10.3	228,825
3 特別損失	-	-			-	-	-
経常損益	-	-			-	-	-
純損益	-	-			-	-	-
累積欠損金	-	-			-	-	-
経常収支比率	100.0		101.9	101.7	100.0		100.0
医業収支比率	-		83.2	82.8	-		-
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	11.5	-		-
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	15.0	-		-
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	11.3	-		-
実質収益対経常費用比率	100.0		89.3	90.0	100.0		100.0

区分	職員数(人)		平均給与月額(円)		平均年齢(歳)	
	当該病院	全国平均	当該病院	全国平均	当該病院	類似平均
医師	-	-	1,400,424	-	43.0	43.4
看護師	-	-	484,378	-	40.3	40.0
准看護師	-	-	469,213	-	52.9	53.9
事務職員	-	-	517,057	-	44.8	44.3
医療技術員	-	-	478,447	-	40.4	39.6
その他職員	-	-	417,671	-	50.0	49.7
全職員	-	-	591,022	-	42.2	41.9

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(％)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

備考: 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。
 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は、特別会計単位で算出している。
 薬品使用効率についてはDPC対象病院を除き算出している。
 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 平均年齢については、会計年度任用職員を含む。

病院経営比較表(令和2年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名	柏原市				
病院名	市立柏原病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	18,350 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	16	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)						
区分	病床数	令和2年度	全国平均	類似平均	令和元年度	平成30年度
一般	220	62.3	67.3	65.3	78.3	75.8
療養	-	-	71.4	84.0	-	-
結核	-	-	13.9	2.4	-	-
精神	-	-	59.9	58.4	-	-
感染症	-	-	25.3	23.3	-	-
計	220	62.3	66.4	65.6	78.3	75.8
平均在院日数(一般病床のみ)		12.9	18.1	16.2	14.0	13.7

一日平均患者数・外来入院患者比率 (人・%)			
区分	入院	外来	外来入院患者比率
令和2年度	137	354	171.8
全国平均	149	352	162.9
類似平均	161	373	158.2
対前年度伸率	-20.3	-10.4	
令和元年度	172	395	151.9
対前年度伸率	3.0	-6.0	
平成30年度	167	420	168.6

患者1人1日当たり診療収入 (円・%)			
区分	入院	外来	
令和2年度	50,435		10,378
全国平均	50,452		15,123
類似平均	42,207		11,549
対前年度伸率	7.2		8.2
令和元年度	47,065		9,595
対前年度伸率	1.2		-1.3
平成30年度	46,498		9,717

職員1人1日当たり診療収入 (円・%)			
区分	医師	看護部門	
令和2年度	199,475		52,597
全国平均	272,905		58,694
類似平均	287,985		55,725
対前年度伸率	-11.8		-2.9
令和元年度	226,046		54,141
対前年度伸率	5.2		1.1
平成30年度	214,866		53,558

薬品使用効率(%)			
投薬	全国平均	類似平均	
注射	117.1	99.8	
計	108.3	103.1	
	111.9	102.3	

職員1人1日当たり患者数(人)			
区分	入院	全国平均	類似平均
医師	2.9	3.6	4.8
	5.0	5.9	7.5
看護部門	0.8	0.8	0.9
	1.3	1.3	1.5

100床当たり職員数(人)			
区分	全国平均	類似平均	
医師	48.2	22.9	19.8
看護部門	91.8	89.1	80.9
薬剤部門	8.2	4.5	3.9
事務部門	17.3	17.8	17.7
給食部門	1.8	2.9	2.6
放射線部門	6.4	4.3	3.7
臨床検査部門	3.2	5.6	4.8
その他	13.2	14.3	15.0
全職員	190.0	161.4	148.3

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	37.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	79.6
修正医業収益(千円)	3,599,552

損益計算書 (千円・%)							
区分	令和2年度			令和元年度			平成30年度
	対前年度増減率	費用 医業収益	全国平均	類似平均	対前年度増減率		
総収益	5,573,990	21.9			4,571,908	1.3	4,514,908
1 医業収益	3,701,861	-11.7			4,192,681	1.6	4,126,378
(1) 入院収益	2,522,530	-14.9			2,965,752	4.8	2,828,995
(2) 外来収益	891,493	-2.9			918,171	-7.9	996,689
診療収入計	3,414,023	-12.1			3,883,923	1.5	3,825,684
(3) その他医業収益	287,838	-6.8			308,758	2.7	300,694
(うち他会計負担金)	102,309	4.7			97,704	3.7	94,197
2 医業外収益	1,859,901	407.2			366,677	-2.1	374,578
(うち国・都道府県補助金)	1,493,421	84226.4			1,771	-29.6	2,514
(うち他会計補助・負担金)	170,790	2.7			166,303	7.0	155,413
(うち長期前受金戻入)	104,251	4.5			99,778	-24.0	131,356
(うち資本費繰入収益)	72,906	-1.0			73,632	12.7	65,361
3 特別利益	12,228	-2.6			12,550	-10.0	13,952
(うち他会計繰入金)	-	-			-	-	-
総費用	4,781,879	-			4,781,765	1.2	4,726,538
1 医業費用	4,522,318	-0.3			4,535,244	1.0	4,491,597
(1) 職員給与費	2,656,875	10.6	71.8	62.1	2,402,549	1.0	2,379,105
(2) 材料費	635,811	-15.0	17.2	25.3	747,576	-5.0	786,750
(うち薬品費)	317,596	-18.6	8.6	13.5	389,995	-8.9	428,248
(うち薬品費以外の医薬材料費)	289,072	-10.5	7.8	11.4	323,097	0.3	322,107
(3) 減価償却費	281,734	3.3	7.6	9.5	272,739	-0.2	273,377
(4) 経費	913,803	-16.8	24.7	22.7	1,098,476	5.5	1,041,683
(うち委託料)	557,277	4.8	15.1	12.6	531,839	10.5	481,470
(5) 研究研修費	4,667	-23.3			6,085	-26.9	8,322
(6) 資産減耗費	29,428	276.4			7,819	231.3	2,360
2 医業外費用	259,561	5.3			246,521	4.9	234,941
(うち支払利息)	73,272	-10.1	2.0	1.3	81,517	-9.2	89,786
3 特別損失	-	-			-	-	-
損益	779,883				-222,407		-225,582
経常損益	792,111				-209,857		-211,630
純損益	792,111				-209,857		-211,630
累積欠損金	1,374,680	-36.6			2,166,791	10.7	1,956,934
経常収支比率	116.3		101.9	99.9	95.3		95.2
医業収支比率	81.9		83.2	80.1	92.4		91.9
他会計繰入金対経常収益比率	4.9		12.3	13.3	5.8		5.5
他会計繰入金対医業収益比率	7.4		16.0	17.7	6.3		6.0
他会計繰入金対総収益比率	4.9		12.2	13.3	5.8		5.5
実質収益対経常費用比率	110.6		89.3	86.6	89.8		89.9

区分	職員数(人)		平均給与月額(円)		平均年齢(歳)	
	当該病院	全国平均	当該病院	全国平均	当該病院	類似平均
医師	38	1,203,195	1,400,424	44.1	43.0	45.8
看護師	152	472,055	484,378	39.3	40.3	41.0
准看護師	-	-	469,213	44.5	52.9	51.2
事務職員	20	511,468	517,057	43.5	44.8	44.9
医療技術員	45	465,867	478,447	40.5	40.4	39.7
その他職員	-	-	417,671	50.3	50.0	49.6
全職員	255	579,456	591,022	41.7	42.2	42.8

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績繰入額
収益勘定繰入	296,220	273,099
資本勘定繰入	240,370	245,606
計	536,590	518,705

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	640,814	15.3
平成30年度	703,416	17.0

備考: 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。
 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は、特別会計単位で算出している。
 薬品使用効率についてはDPC対象病院を除き算出している。
 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 平均年齢については、会計年度任用職員を含む。

病院経営比較表(令和2年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名	藤井寺市				
病院名	市立藤井寺市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	5,423 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	9	指定病院の状況	臨		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)						
区分	病床数	令和2年度	全国平均	類似平均	令和元年度	平成30年度
一般	98	53.2	67.3	61.3	70.6	80.9
療養	-	-	71.4	66.5	-	-
結核	-	-	13.9	4.6	-	-
精神	-	-	59.9	-	-	-
感染症	-	-	25.3	6.7	-	-
計	98	53.2	66.4	62.3	70.6	80.9
平均在院日数(一般病床のみ)		9.5	18.1	23.5	11.0	10.6

一日平均患者数・外来入院患者比率 (人・%)			
区分	入院	外来	外来入院患者比率
令和2年度	52	150	231.1
全国平均	149	352	162.9
類似平均	45	122	187.4
対前年度伸率	-24.6	-15.7	
令和元年度	69	178	204.7
対前年度伸率	-12.7	-3.3	
平成30年度	79	184	185.5

患者1人1日当たり診療収入 (円・%)			
区分	入院	外来	
令和2年度	44,458		22,911
全国平均	50,452		15,123
類似平均	24,824		8,843
対前年度伸率	14.8		11.0
令和元年度	38,723		20,645
対前年度伸率	-4.6		-1.0
平成30年度	40,572		20,859

職員1人1日当たり診療収入 (円・%)			
区分	医師	看護部門	
令和2年度	264,325		65,854
全国平均	272,905		58,694
類似平均	282,002		37,730
対前年度伸率	-24.4		-22.0
令和元年度	349,637		84,392
対前年度伸率	17.2		10.2
平成30年度	298,446		76,614

薬品使用効率(%)			
区分	全国平均	類似平均	
投薬	126.5	117.1	113.7
注射	118.6	108.3	104.1
計	123.4	111.9	108.9

職員1人1日当たり患者数(人)			
区分	入院	外来	類似平均
医師	2.7	3.6	6.8
	6.3	5.9	12.8
看護部門	0.7	0.8	0.9
	1.6	1.3	1.7

100床当たり職員数(人)			
区分	全国平均	類似平均	
医師	24.5	22.9	13.4
看護部門	88.8	89.1	71.4
薬剤部門	13.3	4.5	3.7
事務部門	22.4	17.8	15.3
給食部門	11.2	2.9	4.4
放射線部門	8.2	4.3	3.5
臨床検査部門	4.1	5.6	3.8
その他	3.1	14.3	16.4
全職員	175.5	161.4	131.8

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	115.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	86.3
修正医業収益(千円)	1,922,928

損益計算書 (千円・%)							
区分	令和2年度			令和元年度			
	対前年度増減率	費用 医業収益	全国平均	類似平均	対前年度増減率	平成30年度	
総収益	2,351,975	4.7			2,245,984	-10.3	2,504,147
1 医業収益	1,922,928	-9.7			2,129,042	-10.7	2,384,195
(1) 入院収益	846,700	-13.7			980,623	-16.5	1,174,601
(2) 外来収益	1,008,332	-5.8			1,070,350	-4.5	1,120,445
診療収入計	1,855,032	-9.6			2,050,973	-10.6	2,295,046
(3) その他医業収益	67,896	-13.0			78,069	-12.4	89,149
(うち他会計負担金)	-	-			-	-	-
2 医業外収益	417,317	256.9			116,942	-2.5	119,952
(うち国・都道府県補助金)	305,606	-			-	-	-
(うち他会計補助・負担金)	104,519	-2.3			106,948	-2.3	109,464
(うち長期前受金戻入)	351	-			351	-	351
(うち資本費繰入収益)	-	-			-	-	-
3 特別利益	11,730	-			-	-	-
(うち他会計繰入金)	-	-			-	-	-
総費用	2,328,509	-3.9			2,421,792	-6.2	2,582,322
1 医業費用	2,229,060	-4.0			2,321,321	-6.5	2,481,909
(1) 職員給与費	1,184,062	1.2	61.6	62.1	1,169,494	-4.8	1,228,098
(2) 材料費	706,421	-12.1	36.7	25.3	803,298	-11.3	905,412
(うち薬品費)	593,989	-11.8	30.9	13.5	673,245	-10.9	755,805
(うち薬品費以外の医薬材料費)	99,072	-13.0	5.2	11.4	113,923	-13.9	132,373
(3) 減価償却費	116,704	20.7	6.1	9.5	96,654	-12.6	110,547
(4) 経費	217,720	-4.2	11.3	22.7	227,177	-0.8	228,899
(うち委託料)	134,272	0.6	7.0	12.6	133,408	-5.9	141,767
(5) 研究研修費	2,955	-63.8			8,174	9.2	7,482
(6) 資産減耗費	1,198	-92.7			16,524	1023.3	1,471
2 医業外費用	99,449	-1.0			100,471	0.1	100,413
(うち支払利息)	12,181	-5.1	0.6	1.3	12,829	-5.2	13,536
3 特別損失	-	-			-	-	-
損益	経常損益	11,736			-175,808		-78,175
	純損益	23,466			-175,808		-78,175
累積欠損金	2,216,398	-1.0			2,239,864	8.5	2,064,056
経常収支比率	100.5		101.9	100.3	92.7		97.0
医業収支比率	86.3		83.2	72.4	91.7		96.1
他会計繰入金対経常収益比率	4.5		12.3	23.6	4.8		4.4
他会計繰入金対医業収益比率	5.4		16.0	35.0	5.0		4.6
他会計繰入金対総収益比率	4.4		12.2	23.4	4.8		4.4
実質収益対経常費用比率	96.0		89.3	76.7	88.3		92.7

区分	職員数(人)	平均給与月額(円)		平均年齢(歳)		
	当該病院	当該病院	全国平均	当該病院	全国平均	類似平均
医師	17	1,191,930	1,400,424	46.4	43.0	47.5
看護師	60	544,433	484,378	44.7	40.3	45.6
准看護師	1	383,083	469,213	62.3	52.9	52.4
事務職員	10	457,058	517,057	47.8	44.8	45.6
医療技術員	17	503,662	478,447	46.3	40.4	44.4
その他職員	4	565,646	417,671	53.6	50.0	51.5
全職員	109	629,639	591,022	46.8	42.2	46.9

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績繰入額
収益勘定繰入	96,882	104,519
資本勘定繰入	37,243	103,243
計	134,125	207,762

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

備考: 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。
 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は、特別会計単位で算出している。
 薬品使用効率についてはDPC対象病院を除き算出している。
 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 平均年齢については、会計年度任用職員を含む。

病院経営比較表(令和2年度)				都道府県名 大阪府
市町村・組合名	東大阪市			
病院名	総合病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分		特殊診療機能		
病院区分		不採算地区病院		
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院		
診療科数	-	指定病院の状況		
許可公営企業		看護配置		
DPC対象病院	-	経営形態	直営	
		類似区分	500床以上	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)						
区分	病床数	令和2年度	全国平均	類似平均	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	67.3	71.4	-	-
療養	-	-	71.4	42.2	-	-
結核	-	-	13.9	17.9	-	-
精神	-	-	59.9	49.3	-	-
感染症	-	-	25.3	25.2	-	-
計	-	-	66.4	69.6	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	18.1	12.6	-	-

一日平均患者数・外来入院患者比率 (人・％)			
区分	入院	外来	外来入院患者比率
令和2年度	-	-	-
全国平均	149	352	162.9
類似平均	421	1,002	161.1
対前年度伸率	-	-	-
令和元年度	-	-	-
対前年度伸率	-	-	-
平成30年度	-	-	-

患者1人1日当たり診療収入 (円・％)			
区分	入院	外来	
令和2年度	-	-	-
全国平均	50,452	15,123	
類似平均	70,935	21,795	
対前年度伸率	-	-	-
令和元年度	-	-	-
対前年度伸率	-	-	-
平成30年度	-	-	-

職員1人1日当たり診療収入 (円・％)			
区分	医師	看護部門	
令和2年度	-	-	-
全国平均	272,905	58,694	
類似平均	266,273	69,198	
対前年度伸率	-	-	-
令和元年度	-	-	-
対前年度伸率	-	-	-
平成30年度	-	-	-

薬品使用効率(％) 全国平均 類似平均			
投薬		117.1	
注射	-	108.3	-
計	-	111.9	-

職員1人1日当たり患者数(人) 全国平均 類似平均			
医師	入院	3.6	2.5
	外来	5.9	4.0
看護部門	入院	0.8	0.7
	外来	1.3	1.1

100床当たり職員数(人) 全国平均 類似平均			
医師		22.9	32.1
看護部門	-	89.1	109.8
薬剤部門	-	4.5	5.7
事務部門	-	17.8	19.4
給食部門	-	2.9	2.3
放射線部門	-	4.3	5.4
臨床検査部門	-	5.6	7.2
その他	-	14.3	14.4
全職員	-	161.4	196.3

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(％)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(％)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(％)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(％)	-
修正医業収益(千円)	-

損益計算書 (千円・％)							
区分	令和2年度			令和元年度			平成30年度
	対前年度増減率	費用 医業収益	全国平均	類似平均	対前年度増減率		
総収益	162,167	-11.4			183,096	-10.1	203,761
1 医業収益	-	-			-	-	-
(1) 入院収益	-	-			-	-	-
(2) 外来収益	-	-			-	-	-
診療収入計	-	-			-	-	-
(3) その他医業収益	-	-			-	-	-
(うち他会計負担金)	-	-			-	-	-
2 医業外収益	162,167	-11.4			183,096	-10.1	203,761
(うち国・都道府県補助金)	-	-			-	-	-
(うち他会計補助・負担金)	-	-			-	-	-
(うち長期前受金戻入)	-	-			-	-	-
(うち資本費繰入収益)	-	-			-	-	-
3 特別利益	-	-			-	-	-
(うち他会計繰入金)	-	-			-	-	-
総費用	162,167	-11.4			183,096	-10.1	203,761
1 医業費用	-	-			-	-	-
(1) 職員給与費	-	-	62.1	55.8	-	-	-
(2) 材料費	-	-	25.3	29.8	-	-	-
(うち薬品費)	-	-	13.5	16.5	-	-	-
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	13.0	-	-	-
(3) 減価償却費	-	-	9.5	8.7	-	-	-
(4) 経費	-	-	22.7	19.7	-	-	-
(うち委託料)	-	-	12.6	12.6	-	-	-
(5) 研究研修費	-	-	-	-	-	-	-
(6) 資産減耗費	-	-	-	-	-	-	-
2 医業外費用	162,167	-11.4			183,096	-10.1	203,761
(うち支払利息)	162,167	-11.4	1.3	1.2	183,096	-10.1	203,761
3 特別損失	-	-			-	-	-
損益							
経常損益	-	-			-	-	-
純損益	-	-			-	-	-
累積欠損金	-	-			-	-	-
経常収支比率	100.0		101.9	102.5	100.0		100.0
医業収支比率	-		83.2	87.1	-		-
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	9.1	-		-
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	11.4	-		-
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	8.9	-		-
実質収益対経常費用比率	100.0		89.3	93.2	100.0		100.0

区分	職員数(人)	平均給与月額(円)	平均年齢(歳)		
	当該病院	当該病院	全国平均	類似平均	
医師	-	-	1,400,424	43.0	40.6
看護師	-	-	484,378	40.3	38.4
准看護師	-	-	469,213	52.9	54.4
事務職員	-	-	517,057	44.8	44.5
医療技術員	-	-	478,447	40.4	39.4
その他職員	-	-	417,671	50.0	49.8
全職員	-	-	591,022	42.2	40.3

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(％)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

備考: 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。
 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は、特別会計単位で算出している。
 薬品使用効率についてはDPC対象病院を除き算出している。
 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 平均年齢については、会計年度任用職員を含む。

病院経営比較表(令和2年度)				都道府県名 大阪府
市町村・組合名	阪南市			
病院名	阪南市民病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当	
建物面積	14,965 m ²	不採算地区中核病院	非該当	
診療科数	23	指定病院の状況	救 輪	
許可公営企業		看護配置	10:1	
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)	
		類似区分	100床以上~200床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)						
区分	病床数	令和2年度	全国平均	類似平均	令和元年度	平成30年度
一般	185	76.1	67.3	64.7	77.6	71.2
療養	-	-	71.4	74.9	-	-
結核	-	-	13.9	16.5	-	-
精神	-	-	59.9	63.0	-	-
感染症	-	-	25.3	21.2	-	-
計	185	76.1	66.4	65.9	77.6	71.2
平均在院日数(一般病床のみ)		13.2	18.1	18.6	14.5	14.4

一日平均患者数・外来入院患者比率 (人・%)			
区分	入院	外来	外来入院患者比率
令和2年度	141	351	166.9
全国平均	149	352	162.9
類似平均	98	244	172.7
対前年度伸率	-2.1	-10.2	
令和元年度	144	391	181.8
対前年度伸率	9.1	5.4	
平成30年度	132	371	188.4

患者1人1日当たり診療収入 (円・%)			
区分	入院	外来	
令和2年度	-	-	-
全国平均	50,452	15,123	
類似平均	32,757	9,951	
対前年度伸率	-	-	-
令和元年度	-	-	-
対前年度伸率	-	-	-
平成30年度	-	-	-

職員1人1日当たり診療収入 (円・%)			
区分	医師	看護部門	
令和2年度	-	-	-
全国平均	272,905	58,694	
類似平均	290,238	49,261	
対前年度伸率	-	-	-
令和元年度	-	-	-
対前年度伸率	-	-	-
平成30年度	-	-	-

薬品使用効率(%)			全国平均	類似平均
投薬	-	117.1	116.5	
注射	-	108.3	108.2	
計	-	111.9	111.1	

職員1人1日当たり患者数(人)				
区分	入院		全国平均	類似平均
	入院	4.0	3.6	5.8
医師	外来	6.6	5.9	10.0
	入院	0.8	0.8	1.0
看護部門	外来	1.3	1.3	1.7

100床当たり職員数(人)				全国平均	類似平均
医師	-	22.9	16.0		
看護部門	-	89.1	71.6		
薬剤部門	-	4.5	3.3		
事務部門	-	17.8	16.8		
給食部門	-	2.9	3.0		
放射線部門	-	4.3	3.4		
臨床検査部門	-	5.6	4.4		
その他	-	14.3	14.9		
全職員	-	161.4	133.4		

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	45587.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	2.7
修正医業収益(千円)	8,955

損益計算書 (千円・%)						
区分	令和2年度			令和元年度		
	対前年度増減率	費用 医業収益	全国平均	類似平均	対前年度増減率	平成30年度
総収益	340,512	-2.6			349,694	-3.8
1 医業収益	8,955	-2.4			9,179	9.1
(1) 入院収益	-	-			-	-
(2) 外来収益	-	-			-	-
診療収入計	-	-			-	-
(3) その他医業収益	8,955	-2.4			9,179	9.1
(うち他会計負担金)	-	-			-	-
2 医業外収益	331,557	-2.6			340,515	-4.1
(うち国・都道府県補助金)	-	-			-	-
(うち他会計補助・負担金)	237,754	-			237,753	-0.2
(うち長期前受金戻入)	4,829	-57.9			11,471	-59.0
(うち資本費繰入収益)	-	-			-	-
3 特別利益	-	-			-	-
(うち他会計繰入金)	-	-			-	-
総費用	366,340	-7.8			397,127	-10.3
1 医業費用	325,638	-8.3			355,260	-11.1
(1) 職員給与費	-	-	62.1	67.4	-	-
(2) 材料費	-	-	25.3	17.7	-	-
(うち薬品費)	-	-	13.5	8.3	-	-
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	8.8	-	-
(3) 減価償却費	95,128	-21.5	1062.3	9.5	121,111	-29.1
(4) 経費	229,200	-0.2	2559.5	22.7	229,621	0.4
(うち委託料)	11,304	8.7	126.2	12.6	10,399	19.0
(5) 研究研修費	-	-	-	-	-	-
(6) 資産減耗費	1,310	-71.1	-	-	4,528	-
2 医業外費用	40,702	-2.8			41,867	-3.0
(うち支払利息)	37,056	-3.8	413.8	1.3	38,539	-3.6
3 特別損失	-	-			-	-
損益	経常損益	-25,828			-47,433	-79,318
	純損益	-25,828			-47,433	-79,318
累積欠損金	4,082,339	0.6			4,056,510	1.2
経常収支比率	92.9		101.9	100.3	88.1	82.1
医業収支比率	2.7		83.2	79.7	2.6	2.1
他会計繰入金対経常収益比率	69.8		12.3	15.5	68.0	65.6
他会計繰入金対医業収益比率	2655.0		16.0	20.8	2590.2	2830.8
他会計繰入金対総収益比率	69.8		12.2	15.6	68.0	65.6
実質収益対経常費用比率	28.0		89.3	84.8	28.2	28.3

区分	職員数(人)		平均給与月額(円)		平均年齢(歳)	
	当該病院	当該病院	全国平均	当該病院	全国平均	類似平均
医師	-	-	1,400,424	-	43.0	46.0
看護師	-	-	484,378	-	40.3	43.1
准看護師	-	-	469,213	-	52.9	53.5
事務職員	-	-	517,057	-	44.8	45.1
医療技術員	-	-	478,447	-	40.4	41.2
その他職員	-	-	417,671	-	50.0	50.1
全職員	-	-	591,022	-	42.2	44.4

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績繰入額
収益勘定繰入	53,929	237,754
資本勘定繰入	45,899	45,899
計	99,828	283,653

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

備考: 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。
 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は、特別会計単位で算出している。
 薬品使用効率についてはDPC対象病院を除き算出している。
 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 平均年齢については、会計年度任用職員を含む。